

シリーズ (その1)

# 分別のその先は？



分別収集された資源物はリサイクルされます

今号からご家庭で分別していただいた「ごみ」がどのようにリサイクルされているか、シリーズで紹介していきます。

今月は **ビン類 (飲食用)** です。

集積所などに出されたビンは、市の中間処理施設である高尾クリーンセンターに集められ、職員の手で、茶色、透明、その他の3種類の色ごとに分けられます。その後、民間のリサイクル工場へ運び、細かく砕き、キャップやラベルなどの異物を丁寧に取り除いて、カレットというガラスビンの原料をつくりま



▲収集されたビンを手作業で分別する様子。

す。

問い合わせ  
環境政策課 ☎23-3101

カレットは、ビンの製造工場に持ち込まれ、高温で溶かされ、新しいガラスビンとして生まれ変わります。



ガラスビンは品質が劣化することなく、繰り返し再生することができるため、環境にとっても優しい容器です。

## ビン類のその先は・・・ビンになります。

### 分別のポイント

ほ乳瓶、保存容器などの耐熱ガラスは、高温でも溶けないのでリサイクルはできません。ビン類に混ぜないで埋立ごみへ出してください。

## シリーズ 人権を 考える⑬

〓 人権尊重社会の実現をめざして〓  
正しく理解し、気づき、考え、行動を。  
〜 同和問題 (部落差別) の歴史 〜

### 【室町時代】

差別が習慣として根づいた時代

この時代の人々は、死や自然災害など人間の力が及ばないことを畏れていました。また、それらに関わる仕事をする人や、特別な技能を発揮する人を排除しました。

しかし、差別されていた人々の中には、庭づくりや芸能など自分たちの仕事に誇りをもち、技術を追及するなど、伝統文化に大きく貢献した人がいました。

### 【江戸時代】 (右下図を参照)

厳しい身分制度の封建時代

江戸時代の身分制度は従来、武士、農民、職人、商人の下に差別されていた人々がいたと考えられていました。しかし、現在では、差別されていた人々は、百姓や町人とは別の身分だったと考えられています。

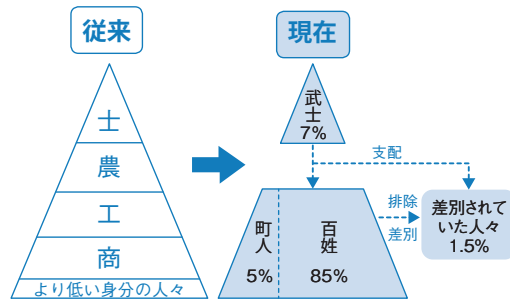
こうした人々は、差別を受けながらも牛馬の皮革で太鼓や履き物を製造するなど、百姓や町人と関わり合い、生活を支え合っていました。

### 【明治時代】

新しい形の差別

1871 (明治4) 年の太政官

### 江戸時代の身分制度の考え方 (イメージ図)



島根県教育委員会・島根県発行「子どもたちが学んでいる同和問題の歴史」より

問い合わせ

人権施策推進課  
☎23-3095